



「老後のお金」に  
困らないのか？

老人ホームで働き、  
金融機関で学んだ私だからわかる

なぜあの人は

THE PERSON WHO DOESN'T HAVE TO WORRY  
ABOUT OLD AGE MONEY IS PREPARING NOW

株式会社ファモア代表取締役

武田 拓也

Takuya Takeda

CROSSMEDIA PUBLISHING

※ 本書の内容はすべて執筆時の信頼できる情報に基づいていますが、その正確性等について保証するものではありません。本書は資産運用におけるご参考として情報を提供しているものであり、本書に基づいて被ったとされるいかなる損害についても責任を負いかねますので、最終的な投資の判断はご自身の責任において行っていただけますようお願いいたします。

## はじめに — 実体験から得た投資の知識を皆さんへ

私は大学で福祉を学び、社会福祉士としてキャリアをスタートしました。有料老人ホームの管理者をしていた頃、70代のご夫婦が見学にいらっしやいました。お子さんたちは独立され、お孫さんもいらっしやる方でしたが、「老後は自分たちだけで、子どもに世話をかけずに生活したい」とおっしゃっていました。

一通り施設内を見学されて、「いいところですね、入所したいと思います」とご希望をいただいたので、費用について、お一人につき月々30万円前後が必要であることをご説明しました。するとご夫婦は、「……もう少し考えてみます」と曇った表情をされ、帰ってしまわれました。実際、このようなケースは非常に多くありました。

当時、私はまだ20代半ばでしたが、「お金がないと豊かな老後は過ごせない」と、本当の意味で実感しました。年金を十分にもらっているとされる現在の高齢世代ですが、実際に思うままに生活できるのは、ほんのわずかな人だけです。私が「高齢者」と呼ばれる

頃には、年金制度がどうなるかもわかりません。何より、会社員としての給与収入から順調に貯金ができたとして、将来いくら貯蓄できるのかは予測できていましたが、その額は、とても有料老人ホームに入居できる金額ではありませんでした。新卒入社した会社では、現場を経て、3年目に中間管理職となりましたが、老後にゆとりが持てるだけの給与額ではないことが、ますます私を焦らせていったのです。

「将来に向けてどうすればいいのだろうか?」——私が20代で老後の不安を抱いたのは、25歳で結婚し、小さな子どもがいたからでした。曇った表情をして帰って行かれる、何組もの老夫婦、独り身のご老人に自分自身を重ね合わせ、将来に大きな不安を抱えていたのです。そのような状況を変えるため、仕事をしながら独学で投資について勉強しましたが、手ごたえを感じられず、「どうせならプロの知識を学びたい」と金融機関へ転職しました。

おかげさまで正しい投資の知識を得ることができ、現在ではファイナンシャルプランナー・IFA（金融商品仲介業）として独立し、会社を経営しています。

金融機関で得た知識、自分自身が投資で得た学びと成功体験、ファイナンシャルプランナーとして多くのお客様の資産作りのお手伝いをさせていただいた経験、それらのことをお伝えするために、本書を書き上げました。

将来に不安を抱いている方、投資とは何なのか今ひとつ実感できない方、一度は挑戦したものの失敗してそれきりの方は、数多くおられると思います。また「保険」「投資信託」「不動産」といった投資手段に対して、誤解のある方や、実は正しい方法を理解していないという方もいらつしやいます。

本書はそういった方々にとって、「資産作りの第一歩」を踏み出すための地図とコンパスのような、そんな役割を持つ一冊になることを目指しています。私が自信を持って言えることは「正しく投資すれば資産は増える」ということです。投資はギャンブルと混同されがちですが、実際には、仕事や習い事と同様に、経験を積んでいくと上達し、実績を上げていくことができます。

本書を通じて、読者の方々のお金の不安を解消し、理想の生活を実現するためのお手伝いができたなら、こんなに嬉しいことはありません。将来のため、老後のために、ぜひ本書をお役立てください。

株式会社ファモア 代表取締役 武田 拓也

なぜあの人は「老後のお金」に困らないのか？

目次

はじめに —— 実体験から得た投資の知識を皆さんへ 3

主な金融商品・投資手段の比較一覧表 12

## 序 章 働きながら、子育てしながらできる「ほったらかし投資」で資産を作る

将来に向かって資産を作るために 14

「ほったらかし投資家」デビューしたAさんの例 18

## 第1章 お金の不安を取り除くために知っておきたい基本の知識

- 01 お金を増やす仕組みを作ろう 24
  - 02 時間を味方にすれば安心して資産形成ができる 28
  - 03 金融商品の特徴を知る① 定期預金と国債 32
  - 04 金融商品の特徴を知る② 外貨預金 35
  - 05 金融商品の特徴を知る③ 保険 37
  - 06 金融商品の特徴を知る④ 投資信託 41
  - 07 金融商品の特徴を知る⑤ 不動産 44
  - 08 金融商品の特徴を知る⑥ 株式・FX 48
  - 09 リスクの種類を知ってリスクをコントロールする 53
  - 10 人それぞれの方法を考えなければならぬ理由 57
  - 11 「ほったらかし」で手堅くできる3つの資産運用 62
- コラム01 資産運用で心得ておきたい4つのルール 66

## 第2章 必要な備えを見極めた「保険」の使い方

- 12 保険で得する仕組み——もしもの時の備え 72
- 13 「いざ」という時に必要となるお金を知っておく 75
- 14 選ぶ前に理解しておきたい保険の種類 79
- 15 保険に入るべき人はどんな人？ 86
- 16 加入を考えた時に聞いておきたい6つのポイント 90
- 17 長所・短所を理解すると有力な外貨建て保険 94
- コラム02 もっと保険で増やすなら変額保険 97

## 第3章 お金が増える「投資信託」の選び方

- 18 投資信託で得する仕組み——今すぐ少額で始められる



	19	長期投資することのメリットを活かす	104
	20	投資信託は銀行で買ってはいけない？	108
	21	「インデックスファンド」と「アクティブファンド」はどちらが良いのか？	110
	22	「堅実派」「バランス派」「積極派」それぞれのおすすめ投資法	114
	23	口座開設はどこするのがいいのか？	119
	24	トクする制度で実際に運用！ iDeCo・NISAの基礎知識	123
	25	結局、どこから始めるのがいいのか？ いくら投資に使えばいいのか？	131
	26	担当者を味方につければ、初心者でも安心	134
	27	持っている資産の比率を調整する「リバランス」の基本	136
<b>第4章 年収400万円から始められる「不動産投資」</b>			
28		不動産投資で得する仕組み——働きながら資産を作る	140

## 第5章 「事例」正しく資産運用するための実践講座

- 29 不動産投資のメリットとリスクを正しく知ろう 144
- 30 不動産を活かした「節約」「節税」と「ライフプラン」 151
- 31 メリットの大きい物件とはどんな物件か？ 156
- 32 契約前に何をすべきか？重視する点 161
- 33 低リスクで始めてみたいなら狙うべき物件 165
- 34 成功する不動産投資は不動産会社選びで決まる 167
- 35 「目標金額」を考えよう 172
- 36 相談事例①〈20代・女性・会社員〉  
支払い過ぎの保険料を見直し、支出を変えずに老後の資金作り 177
- 37 相談事例②〈40代・男性・会社員〉  
増えない投資信託に不信感、不動産で安定した運用を実現 179

38	相談事例③〈50代・女性・主婦〉 まとまった資金を保有しているが、リスクを抑えて運用したい	182
39	相談事例④〈60代・女性・主婦〉 年金にプラスして、月々10万円のお小遣いを実現	185
40	相談事例⑤〈60代・男性・無職〉 投資信託で運用しているが成績不振で、見直して投資効果を上げたい	

## ▼ 主な金融商品・投資手段の比較一覧表

ここでは本文に入る前に、預貯金を含め、主な金融商品や投資手段を、安全性や収益性などいくつかの観点から比較してみます。「流動性」はすぐに現金化できるか、「インフレ対応」はインフレの場合に資産が目減りしないか、「インカム」は資産を何によって増やすかを表しています。

	預貯金	債券	保険	外貨	投資信託	不動産	株式
安全性	○	○	○	△	△	○	×
流動性	○	△	△	○	△	×	△
インフレ対応	×	△	△	△	○	○	○
節税	×	×	△	×	×	○	×
管理の手間	○	○	○	○	○	○	×
収益性	×	△	△	△	○	○	○
インカム	利息	利息	配当金	利息	分配金	家賃収入	配当金
元本保証	○	○	○	×	×	×	×
ローン活用	×	×	×	×	×	○	×